

【目的】パソコンを婦人服パターン設計に導入してきたが、本研究ではスカートパターン作成の省力化を図るだけでなく、ユーザーが希望したスカートを、パターンの上でパソコンとの対話方式でデザインしながら作成するシステムを開発しようとした。すなわち、パターンナーなどの専門化が(人間)デザインをパターンに組み込む知識や手順を分析し、未経験者でもデザインを考えるもしくは選ぶ過程を踏まえながら自動的にパターン作成を導けるようにして、AI的システムに近づけようと考えている。本報では、基本的なスタイルとして、タイト(ヒタイト、ハルンを含む)、ギャザー(タックを含む)、フレア(コアトを含む)、プリーツスカートを取り上げ、パターンのデザインと作成を試みたので報告する。

【方法】パソコンの機器構成は、NEC PC9800シリーズ、デジタイザ(GRAPHTEC KD4030A)、プロッタ(GRAPHTEC GP1101)、イメージスキャナ(NEC PC-1N502)である。パターンのデザインと作成の流れは、原型作成(身体寸法入力) → スタイル選択(タイト、ギャザー、フレア、プリーツ) → 各スタイルでのデザイン展開(ギャザー分量や位置などのデザイン要素の入力) → デザインパターン完成(画面表示、プロッタによる実物大製図) → パターン登録 である。

【結果】スカートパターン作成の知識や手順の構造化を図り、デザインからパターン作成までの一連作業を、パソコンとの対話方式で可能とした。スタイル選択やデザイン要素入力時などには絵表示を行い、初心者でもパソコンとの対話が容易にできるように支援した。さらにスタイルの増加や縫製用パターンへの発展とともに、色、素材などの知識データベースを加えていく必要がある。